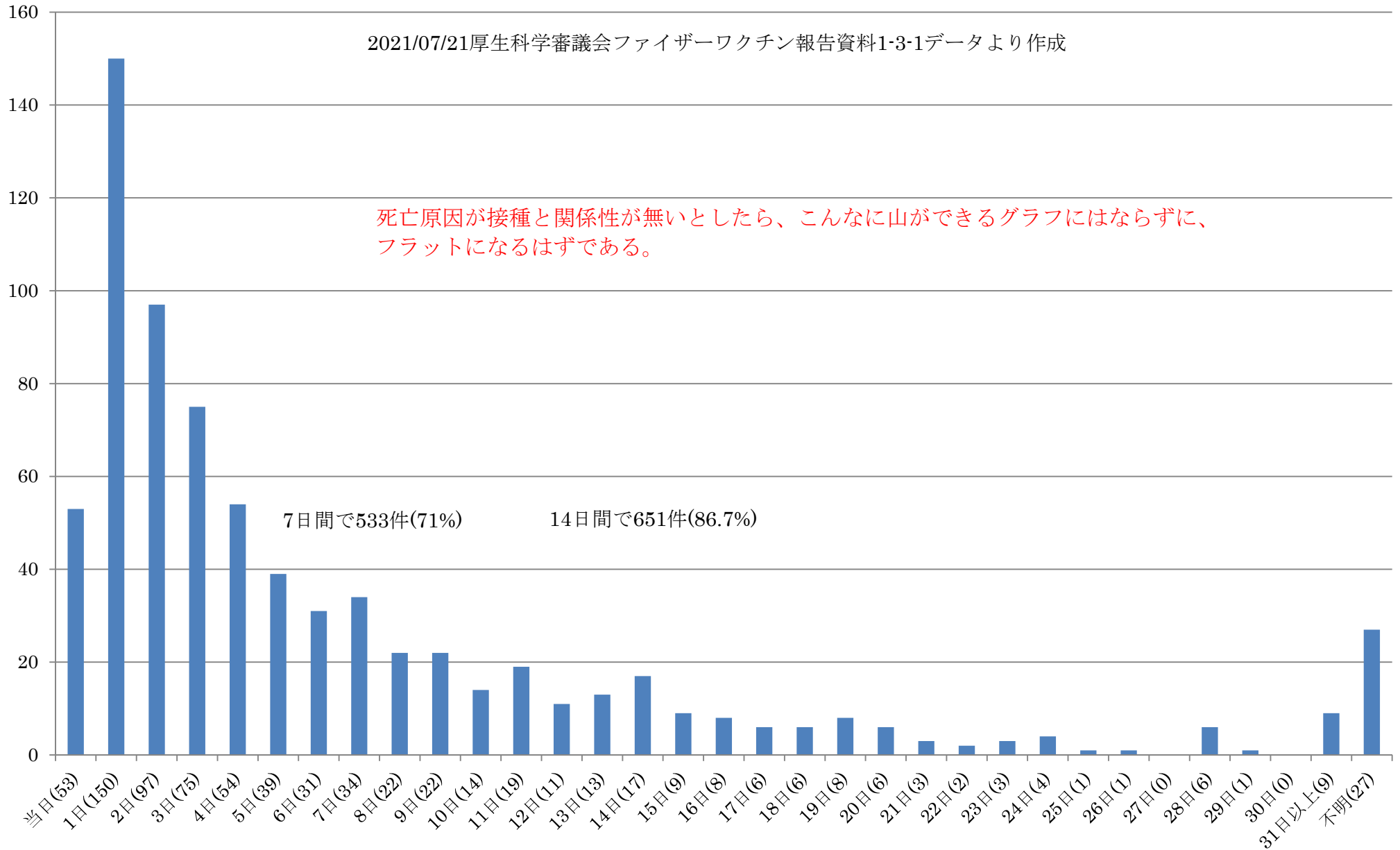


# 新型コロナワクチン接種後死亡例751例の死亡までの期間

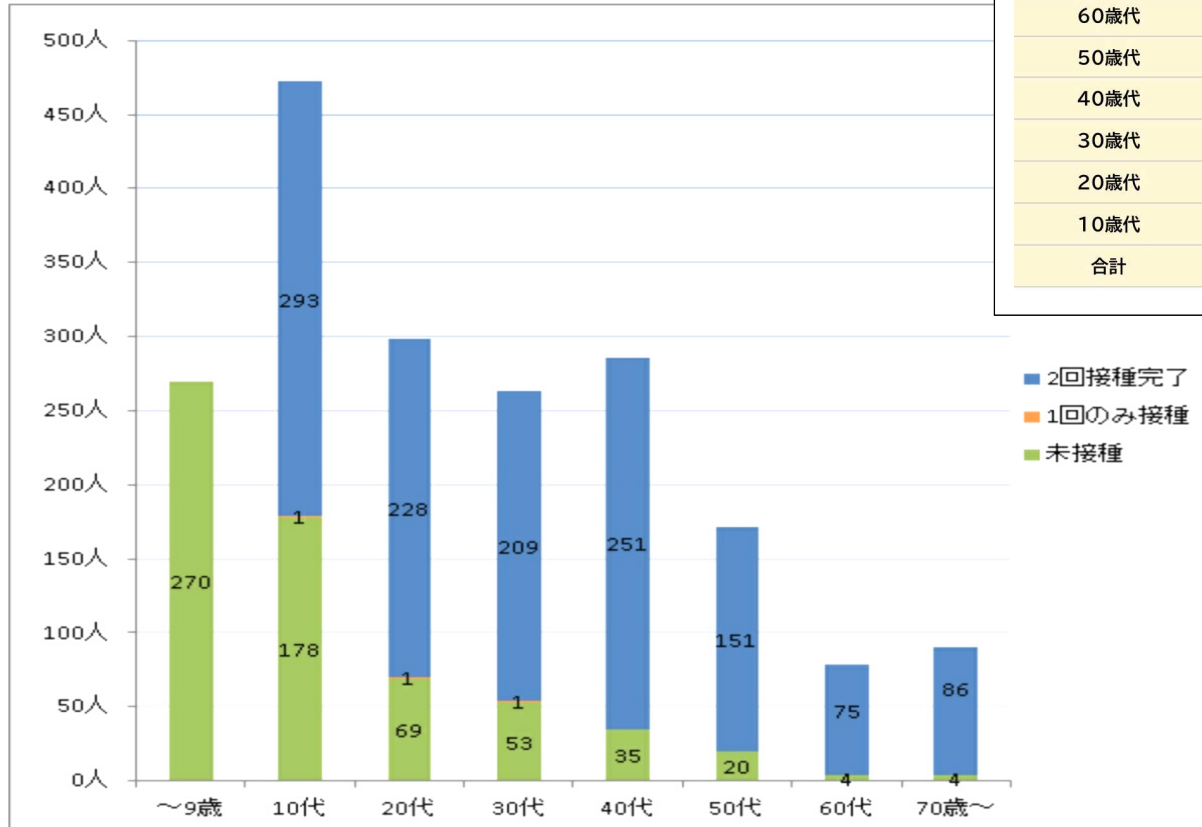
2021/07/21厚生科学審議会ファイザーワクチン報告資料1-3-1データより作成

死亡原因が接種と関係性が無いとしたら、こんなに山ができるグラフにはならず、フラットになるはずである。



令和4年浜松市データ(HPより)

## 感染者の状況 (1月21日~1月27日)



年代	1回目	2回目
90歳以上	88.8%	87.3%
80歳代	93.1%	92.5%
70歳代	93.9%	93.6%
60歳代	92.2%	91.9%
50歳代	89.6%	89.1%
40歳代	87.2%	86.5%
30歳代	83.7%	82.6%
20歳代	83.0%	81.7%
10歳代	79.5%	77.9%
合計	88.2%	87.5%

接種すると感染しないと言うのは全くの嘘である事がはっきりわかるデータである。

新型コロナウイルス新規感染者のワクチン接種者と未接種者のデータ

	~9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳~	計
新規感染者数	270	472	298	263	286	171	79	90	1,929
未接種	270	178	69	53	35	20	4	4	633
1回のみ接種		1	1	1					3
2回接種完了		293	228	209	251	151	75	86	1,293
接種比率		62.3%	76.8%	79.8%	87.8%	88.3%	94.9%	95.6%	67.2%(78.1)

### 心膜炎が疑われた報告頻度 (100万人接種当たり)

年齢 (歳)	ファイザー社		武田/モデルナ社	
	男性	女性	男性	女性
12~14	5.6	1.0	32.0	0.0
15~19	10.1	1.1	14.1	7.4
20~24	5.8	0.6	9.3	2.2
25~29	5.8	0.0	6.3	1.4
30~34	2.9	1.0	1.1	3.2
35~39	2.0	1.6	0.0	1.5
40~44	0.8	0.7	2.0	0.0
45~49	1.0	0.3	2.6	1.3
50~54	0.7	2.0	1.0	1.5
55~59	0.0	0.3	0.0	0.0
60~64	1.1	0.3	2.2	0.0
65~69	1.5	0.8	0.0	0.0
70~74	1.5	0.4	0.0	0.0
75~79	1.5	0.6	0.0	0.0
80~	0.8	0.3	0.0	0.0

### 心筋炎が疑われた報告頻度 (100万人接種当たり)

年齢 (歳)	ファイザー社		武田/モデルナ社	
	男性	女性	男性	女性
12~14	26.1	3.0	80.0	0.0
15~19	25.5	4.8	98.7	2.5
20~24	16.0	1.2	55.0	2.2
25~29	11.6	1.7	38.9	2.8
30~34	4.6	1.5	11.8	3.2
35~39	2.5	2.9	3.0	3.0
40~44	4.1	1.7	5.9	3.0
45~49	1.6	1.1	5.2	5.2
50~54	1.6	1.7	1.0	4.4
55~59	2.2	0.6	2.6	0.0
60~64	0.7	1.6	0.0	0.0
65~69	1.8	0.8	4.3	5.7
70~74	0.7	1.5	0.0	0.0
75~79	1.5	0.3	0.0	0.0
80~	2.0	1.7	0.0	0.0

(厚生労働省 HP より、令和 3 年 12 月 24 日報告)

○合計(100 万人接種当たり)

12~14 歳 147.7 、15~19 歳 164.2 、20~24 歳 92.3 、25~29 歳 68.5

12~19 歳でワクチン 100 万人接種あたり 311.9 人も出ています。これは異常な数字です。厚生労働省は 2021 年 12 月 3 日に「重大な副反応」に警戒度を引き上げて、医師らに報告を義務づけることを決めた。

	PCR 陽性重症者数	PCR 陽性死亡者数	接種後重篤報告数	接種後死亡報告数
10代	<u>6人</u>	<u>4人</u>	<u>387人</u>	<u>5人</u>
20代	<u>57人</u>	<u>26人</u>	<u>713人</u>	<u>27人</u>
30代	180人	82人	748人	26人
40代	1535人	292人	913人	47人
50代	3386人	825人	728人	74人
60代	4766人	1613人	621人	89人
70代	6553人	4198人	898人	253人
80代以上	3671人	10605人	1356人	587人

10代、20代、死亡者数は変わらないが 重症者の数は接種者が圧倒的に多い。

(PCR 陽性死亡者の4名の内3名は基礎疾患あり、1名は交通事故)

○新型コロナウイルス感染症患者の急変及び死亡時の連絡について(令和2年6月18日)⇒新型コロナウイルス感染症の陽性者であって、入院中や療養中に亡くなった方については、厳密な死因を問わず「死亡者数」として全数を公表するようお願いいたします。

○2021年 鎌倉市死亡者数

☞10年平均 1893人(1日 5.1863人亡くなっている)

2011年/1786人(-21) /56054(国)

2012年/1853人(+67) /3293(国)

2013年/1859人(+6) /12077(国)

2014年/1815人(-44) /4568(国)

2015年/1894人(+79) /17440(国)

2016年/1911人(+19) /17340(国)

2017年/1989人(+78) /32649(国)

2018年/1864人(-125) /22073(国)

2019年/1993人(+129) /18623(国)

2020年/1956人(-37) /-8338(国)

☞2021年/2093人(+137)/ 62553(国は10月まで)

☞(1日 5.7340人亡くなっている)

過去の10年平均より200人(約10%)増加しており異常な数字と言える。

1日の死亡者数は、5.1863人→5.7340人に増加している。( +0.5477人)

鎌倉市民の新型コロナウイルスワクチンの副反応疑いの報告件数

国では、ワクチンの安全性の確保のため、接種と因果関係が不明な場合も含めて、副反応を疑う事例を収集し、厚生労働省の審議会で専門家による評価を行っています。

副反応疑いに関する詳細については、厚生労働省の「[新型コロナウイルスワクチンの副反応疑い報告について\(外部サイトへリンク\)](#)」をご覧ください。

なお、12月22日時点で鎌倉市に情報提供のあった市民の副反応疑い報告は次の通りです。

	副反応疑い報告数			64歳以下	65歳以上
		うち重篤			
			うち死亡		
男性	6	1	1	6	0
女性	25	2	1	22	3
不明	0	0	0	0	0
合計	31	3	2	28	3



# 【緊急発信】「オミクロン株」は 今までの新型コロナウイルスとは異なる ノドの粘膜型風邪ウイルスです！

オミクロン株は血栓を作る今までのアルファ株～デルタ株とは異なり、日本人が子供の頃から冬に感染していたノド風邪の**コロナウイルス229E型（土着コロナウイルス）**に酷似しています。血管壁のACE2受容体を介して感染していたこれまでの株は重症化する恐れがありましたが、オミクロン株は咽頭の粘膜**アミノペプチダーゼN(APN)受容体**を介して感染するので、大半が無症状であり、発症しても微熱、喉の痛み、頭痛、倦怠感などで軽症に経過し、のど飴が良く効く風邪です！

- ① 症状は、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、発熱、倦怠感など、“普通の風邪”と同じです。
- ② 潜伏期は数日で超短期間です。
- ③ **重症化は稀**です。
- ④ 幼児からお年寄りまで**全年齢層**が感染します。
- ⑤ **今のワクチンの追加接種はオミクロン株に無効**です。
- ⑥ “風邪は万病の源”なので、**手洗い、うがい、口腔ケア、鼻洗浄**が大切です。
- ⑦ 感染予防には**緑茶、ビタミンC & D**や**亜鉛**がお勧め。

2022年1月21日

## 《北海道有志医師の会》

代表発起人：藤沢 明德

一林 正剛 沖田 一希 末武 敬司 田谷 智 仁平 洋 藤岡 洋介 山川 智士  
 梅田 弘胤 賀陽 真哉 関根 徹 鄭 鐘美 中川 雅文 藤原 明洋 山田 幸恵  
 大池三千男 川崎 和凡 高橋 浩司 津野 理園 橋本 英樹 牧野 孝一 吉野 光晴  
 岡林林太郎 川西 輝明 田中 智 波岡 英治 原田 雅仁 松岡 健

特別顧問：井上 正康（大阪市立大学名誉教授・現代適塾 塾長）

（50音順）（他、賛同人3名）

## 心筋炎

厚生労働省は接種後の重い副反応として心筋炎、心膜炎を追加した。デンマークのコホート研究によると、ワクチン未接種者と比較して2回目の接種後、心筋炎、心膜炎の発症リスクが大幅に高く、モデルナはさらに深刻であることが発覚した。心筋細胞は一度傷つくと再生しない。回復後もダメージが残ることが多く、発症後の5年後生存率は約50%である。



theBMJ 論文  
SARS-CoV-2 ワクチン接種と心筋炎または心筋心膜炎：  
集団ベースのコホート研究

## 血栓症

肺塞栓症・脳梗塞・心筋梗塞、網膜血管閉塞症（失明）など血栓が血管に詰まることで引き起こされる。ワクチンで作られるスパイク蛋白が難溶性フィブリン（血液凝固作用を持つ繊維蛋白質）を誘発。また、血管内のスパイク蛋白は血管内皮細胞のACE2に結合しリンパ球が血管内皮細胞を変質破壊することで傷に血小板が集結凝固、血栓となる。



米CDC 研究者による論文  
ワクチン接種後の血小板減少を伴う脳静脈洞血栓症の米国内での症例報告

## ギランバレー症候群

免疫システムの異常により末梢神経を損傷させ、筋力低下や麻痺、痛みを引き起こす自己免疫性神経症。欧州医薬品庁はAZ、JJ製ワクチンの重篤な副反応として追加済み。米VAERS内におけるギランバレー症候群は825件、ファイザー41%・モデルナ29%・J&J28%であり日本国内でも91件、接種後のギランバレー症候群が報告されている。



The Lancet Neurology  
COVID-19 に対する  
ワクチン接種後の  
ギランバレー症候群

## 免疫低下・免疫不全

英国政府は、接種完了者の自然免疫系にダメージを与えていることを認めた。欧州医薬品庁は、ブースター接種がワクチン獲得免疫不全症候群（VAIDS）を引き起こしていることを認めた。ワクチン接種後に頻発している帯状疱疹やヘルペス活性化なども免疫低下によるもの。1/22 現在英国、入院・死亡抑制効果は高齢者で逆効果、感染予防も18歳以上で逆効果となっている。



政府の公式文書の比較で「完全なワクチン接種者」がエイズを発症していることが示唆される

## ADE

抗体依存性感染増強（ADE）とは、ウイルス感染やワクチン接種によってできた抗体が、感染や症状を逆に促進してしまう現象。mRNA ワクチンの開発者であるロバートマローン博士は接種者全員に起きると警告している。デンマークとカナダの出した論文では2回接種から3ヶ月経つとワクチン効果が76.5% マイナスになると指摘している。



ワクチンと抗体依存性感染増強（ADE）  
荒川央（あらかわ ひろし）

## 自己免疫疾患

免疫機能が自分の身体を攻撃する疾患。バセドウ病、関節リウマチ、1型糖尿病、全身性エリテマトーデス、橋本甲状腺炎、血管炎など。ワクチンのmRNAを取り込んだ細胞が発現するウイルスのスパイクタンパク質と正常な自己タンパク質の組み合わせの結果、正常な細胞に新しい標的が作られ、免疫系がそれらを異物と認識して一斉に攻撃する可能性があるとされている。



なぜワクチン接種が自己免疫疾患につながり得るのか  
荒川央（あらかわ ひろし）

## 不妊

ファイザーの資料によると、ワクチン内のmRNAを包む脂質ナノ粒子が卵巣に高濃度で蓄積されていることが分かっている。すなわち、卵巣内で大量のスパイク蛋白質が作られるということであり、スパイク蛋白質自体に強い毒性があることから、卵巣の炎症や損傷を起こす可能性がある。ワクチン接種後の不正出血や月経異常は世界中で多数報告されている。



新型コロナのワクチン、生理痛や周期に影響？  
英で3万人が報告  
-Newsweek

## 癌

健康な人でも毎日5000個の癌細胞が発現し、リンパ球などの免疫細胞がそれを攻撃して死滅させているが、ワクチン接種後のリンパ球減少とそれに伴う一時的な免疫不全は世界中で多くの研究や論文が出されている。また、重症化（サイトカインストーム）を防ぐために誘導されたTreg細胞により免疫反応が抑制され、本来排除できるはずの癌細胞が急激に増殖する。



mRNA ワクチン  
ブースターショット後の  
血管免疫芽球性T細胞リンパ腫の  
急速な進行：症例報告

## プリオン病・ヤコブ病

脳に小さな穴が空いてスポンジのようになり、認知症、寝たきりとなり死に至る。狂牛病とも。20年3月、スパイク蛋白はプリオン似アミノ酸配列が存在すると報告された。スパイク蛋白は脳幹を突破して海馬に侵入していることが21年1月に発覚。MITの科学者はS蛋白がプリオンとして作用し、特に若年層において発生率が増加すると警告している。



COVID-19 に対する  
mRNA ワクチンのいくつかの  
考えられる意図しない  
結果のレビュー